



Seisen
Junior & Senior
High School

清泉女学院中学高等学校

〒247-0074 神奈川県鎌倉市城廻200
TEL 0467-46-3171 FAX 0467-46-3157 http://www.seisen-h.ed.jp

カイロス

καίρος

第65号

2018年4月17日発行

二〇一八年度を迎えて



校長 高倉 芳子
二〇一八年度
四月、清泉女学院は創立七十周年を迎えました。

一九四七年四月、横須賀に小学校と中学校が、その翌年に高等学校が創立されました。よって本校の創立は、この高等学校の創立一九四八年から数えて、今年で七十周年ということになります。今年度は色々なところより発掘(?)された横須賀時代からの古い写真を整理していこうと思っています。

ご存知のように、一九三四年、聖心侍女修道会の創立者聖ラファエラ・マリアの志を受け継いで、ローマからエルネステイナ・ラマリヨ(初代校長)をはじめとする四人のシスターが来日されました。女性が男性と同じようには教育を受けられなかった時代、さらにその後、第二次世界大戦に巻き込まれながらも、キリスト教精神に基づき「自立した女性の育成」に邁進しました。そのシスター方の強い信念と果敢な実行力は、現代の女性リーダーに通じるものがあります。

二〇一八年度は、今年一月から三月の始めにかけて、朝日新聞の神奈川版に掲載された「青春スクロール・母校群像記」というコーナーに清泉の卒業生が紹介されました。毎週木曜日、合計八回掲載されましたので、たくさんの方に見ていただけたと思います。政治家、大学教授、スポーツ選手、医師、実業家、音楽家……様々なジャンルの職業に就いて活躍される方々が、共通して「まわりの人が喜んでくれるのが一番の幸せ」というコメントをされているのが印象的でした。聖ラファエラ・マリアの「周りの人に喜びを与えること、それが本当の愛です」という精神が、清泉生たちにしっかり根付いている証です。

また同じく、世界各地に創立者の精神が広がっていると実感することがありました。一月に本校から二人の先生が海外姉妹校研修に参加され、マドリッド、コルドバ、ダブリン、パリの姉妹校を訪れました。さらに、聖ラファエラ・マリアの生誕地ペドロ・アバド、そしてローマにある修道会の本部にも足を運びました(詳細は四・五面)。参加された先生から、海外の各学校にも聖ラファエラ・マリアの御像が飾られ、盾の形の校章(聖心侍女修道会のシンボルマークが描かれている)が共通しているとの話を聞き、姉妹校としての繋がりをさらに強く感じさせられました。



コルドバの姉妹校の校章



アイルランドの姉妹校の校章



パリの姉妹校の校章

日本を含め世界二十六か国に修道院があり、五十校余りの姉妹校が同じ建学の精神のもとで教育が続いている。このことは清泉が大いに誇れる特長の一つですね。まさに、昨年注目されているグローバルな教育や女性リーダーの養成は、すでに七十年前から清泉女学院が目指している教育だったことを再認識させられます。

新年度のスタートにあたり、この建学の精神を忘れず、刻々と変化する社会に柔軟かつ積極的に対処できる力を養い、皆で一步一步前進していきたいと思えます。最後になりましたが、三月十七日に第七代校長シスター坂本淑子が帰天されました。心からご冥福をお祈りいたします。



… INSIDE … ② 進路指導研究部から・年間行事・新担任紹介 ③ 大学合格実績・清泉百花百景 高木すみ江先生 ④ 5 ヨーロッパの姉妹校&創立者ラファエラ・マリアの足跡紹介します!! ⑤ 学生生活進行形 早稲田大学 正木千智さん ⑦ 短信・中学合唱祭・賞・異動 ⑧ 第2回AI倫理会議 中3清泉インターナショナル交流プログラム・模擬国連参加・2030SDGsゲーム開催